

駐車場開門について

- (1)本陸前駐車場は役員専用のため保護者・チーム関係者の駐車は出来ません。地下駐車場を利用してください。
- (2)ラグビー場駐車場はラグビー場使用者のため、ご遠慮ください。
- (3)地下駐車場は渋滞防止のため東より西進し、左折進入してください。(右折はおやめください。)
- (4)駐車場は混雑が予想されるので、なるべく公共交通機関を利用してください。
- (5)本陸開門は8時10分とします。ただし正面階段からのみとします。

競 技 注 意 事 項

2018小学生選手権

- 1 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。ただし競技によっては、「友の会ルール」を採用する。
- 2 ナンバーカードについて
 - (1) 規定のもの(「友の会登録」のナンバー)をユニホームの胸、背に確実につける。
 - (2)トラック競技は、招集時にレーンナンバーを表す「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに係に返却する。
- 3 ウォーミングアップ場について
 - (1)ウォーミングアップ場として北陸上競技場を14時00分まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次の通りとする。
1・2レーンはリレー、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
 - (2)フィールド競技は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
 - (3)瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用は、雨天時のみの使用に限る。
 - (4)9時00分まで出場競技者に限り、準備に支障のない範囲で、本競技場のトラックを使ってウォーミングアップをすることができる。
- 4 招集について
 - (1)招集所は正面スタンド下、100mスタート付近競技者ホールに設ける。
 - (2)招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。時間に遅れた者は出場を認めない。
招集指導は、IDカード所有の指導者の引率で行う。招集を受けない競技者は出場できない。
 - (3)招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (4)リレーのオーダー用紙は、8時までに団体受付時に提出する。

5 競技場への入退場について

- (1)入場は、すべて招集所より係の誘導により行う。引率指導者、付添者は競技場に立ち入ることはできない。
- (2)競技場からの退場は、下記による。
 - ①トラック競技
 - ・フィニッシュ横退場口から階段を上がり、2階の雨天走路を経て退場する。正面スタンド下、本部室前の通行は禁止する。
 - ・リレーの第1～第3走者は、各自でトラックの外側(グリーン舗装)を通過して近くの退場口から退場する。フィールドを横切らない。
 - ②フィールド競技
 - ・競技役員の指示・誘導による。

6 レーン・試技順について

- (1)トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2)決勝のレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果は正面階段上記録掲示板に掲示する。
- (3)欠場者のレーンは空ける。

7 トラック競技の決勝進出の決定について

- (1) 写真判定により実施し、各種目上位 8 人及び 8 チームが決勝に進出できる。
- (2) 決勝進出者の決定について、同記録があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が1000分の1秒で記録されたタイムにより優劣を判定して出場者を決める。それでも決められないときは抽選する。(競技規則第167条)
- (3) 抽選は、アナウンスにより招集して行う。アナウンスから**10分以内**に本部へ集合すること。決勝進出決定の発表は、アナウンスおよび大型ビジョンにより行う。また記録掲示板に掲示する。

8 競技について(友の会ルール)

- (1) スパイクシューズの使用はできるが、裸足での競技は禁止する。
- (2) スタートの方法は、クラウチングスタートもしくはスタンディングスタートとする。不正出発は各選手1回まで認められる。
- (3) 混合リレーのオーダーは、1・2走者は女子、3・4走者は男子とする。

(4) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
男・女	9台	0.70m	13m	7m	11m

(5) 混成2種について

- ①混成2種Aは、100m・走高跳の順に行う。
- ②混成2種Bは、100m・走幅跳の順に行う。

(6) ジャベリックボール投について

- ①ジャベリックボールは主催者が用意した物を使用する。
- ②助走距離は15m以内とする。
- ③試技は3回までとする。
- ④ジャベリックボールを手のひらで包むようにし、親指と人差し指から尾の部分が出るように握り、オーバースローで投げる。

(7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」に限る。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以後 5cm
女子走高跳	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後 5cm
男子2種A	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後 5cm
女子2種A	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後 5cm

※1位決定のバーの上げ下げは、2cmとする。

9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- (2) リレー・跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは、2個まで使用できる。

10 競技用靴(スパイクシューズ)について

スパイクピンの数は片足11本以内で、長さ9mm、走高跳は12mmを超えてはならない。
またスパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。

11 表彰について

- (1) 各種目1～8位に賞状、1～3位に賞品を授与する。
- (2) 賞状ができれば随時行う。8位までの入賞者は成績発表後、本部表彰室に集合すること。ただし、リレーの表彰はしない。

12 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (2) スタンド最前列で立って、応援・観戦をしない。また、通路に立ち止まっての応援・観戦をしない。
- (3) 応援幕、のぼり旗は正面スタンドを除くスタンド最上部に限り認める。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各チーム・クラブ、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。
- (5) **スタンドは15時30分閉門とします。**

ゴミ問題は深刻な状況です。ゴミ処理の焼却場や収集コンテナ等が使用できない状況ですので、「ゴミの持ち帰り」をお願いします。他人に、迷惑をかけないように互いに気配りください。

13 IDカードについて

- (1) 各チームに1枚ずつIDカードを貸与する。団体受付時に本部で貸し出し、競技終了後本部まで返却すること。
- (2) 選手以外はIDカードを持っていなければ招集場に入ることはできない。

14 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン（曲走路）を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン（チーム）の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) 本大会は、大型ビジョン・映像を活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、訂正があれば競技開始前までに本部に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (6) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (7) カメラ、ビデオ等の撮影は、出場の団体と選手のみとし、下記にある「撮影についてのお願い」に従うこと。
- (8) 本大会は愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。怪我の治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

引率指導者の方へのお願い

競技注意事項は、指導者の方で各参加者にご指導・伝達をして下さい。
特に、招集時刻には遅れないよう、招集完了時刻5分前には招集所（スタンド下100mスタート付近）に集まるよう指導して下さい。
その後の応援・指導は、スタンドからに限定します。

撮影についてのお願い

子どもたちのため、競技会における撮影について、ご理解とご協力をお願いします。

観客席からの撮影制限について

- 1 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは、下記の席です。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、走幅跳の助走後方と着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や、体を動かしているなどの準備の行動の動作時も撮影を禁止します。
- 4 望遠レンズを使つての撮影は必ず本部で許可を得て下さい。
- 5 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。

雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、なるべく北競技場でウォーミング・アップを行うこと。
- ② レースの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の人はい立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

